

ASSIST RING

SPORT LINE

この度は弊社製品<ASSIST RING>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は弊社レスポンスリングが装着されている車両に追加で装着しさらにエンジンレスポンス、トルクをさらに高める目的に制作された製品です。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い！ 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ネジの締め忘れ、ダクトの勘合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。



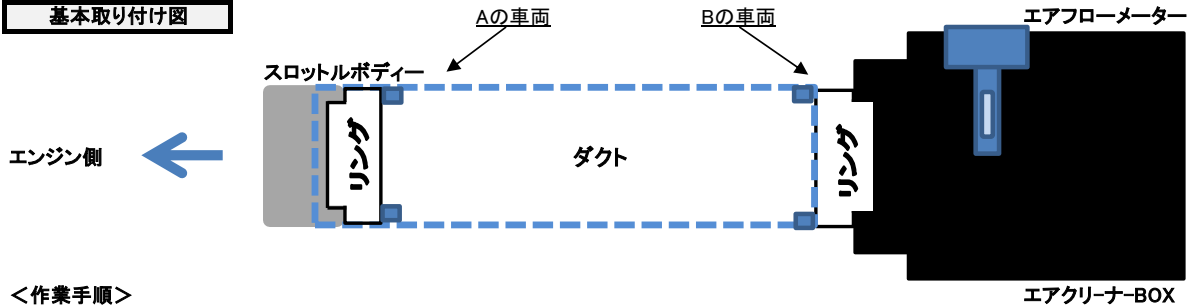
注意

- リングの数力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。
- 製品名・パッケージ表記がアシストリングとなり、製品の刻印は「RESPONSE RING」となります。

【取り付け方法】

- (1)レスポンスリングの標準タイプを、説明書にそって確実に装着して下さい。
- (2)アシストリングの取り付け位置は標準シングルタイプの装着位置により異なります。(下記の位置への取り付けになります)
 - A: 標準レスポンスリングがエアクリナー-BOX側に装着されている車両→スロットルボディ側へ装着
 - B: 標準レスポンスリングがスロットルボディ側に装着されている車両→エアクリナー-BOX側へ装着
 - ダイハツターボ車: インタークーラー入口もしくは中間パイプへ装着
 - JB23: アシストリングをスロットル側、標準リングをタービン入口側(下記参照)へ装着しなおして下さい。

基本取り付け図



<作業手順>



注意

- 基本取り付け図を参考に、スロットルボディ側もしくはエアクリナー側へリングを装着して下さい。
- * ダクトの内側にてリングが固定出来ない車両は、付属のアルミテープにてリングを固定して下さい。
- * ダクトのずれ、ネジの締め忘れが無いよう慎重に作業をおこなって下さい。

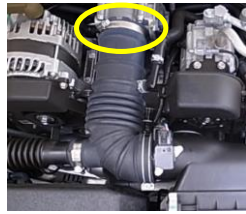
主な車両資料

<トヨタ2ZR-FXE車>



- エアクリナー-BOX、レゾネーター等を脱着してスロットルヘリングを装着して下さい。

<86、BRZ>



- スロットル側ヘリングを装着して下さい。

<DA17エブリー、NV100>



- 運転席シート下にあるスロットル側ヘリングを装着して下さい。

<LA600タント、LA150ムーブ>



- インタークーラー入口に装着して下さい。
- インタークーラー側ヘリングの出っ張った部分を向け、装着して下さい。

<200系ハイエース>



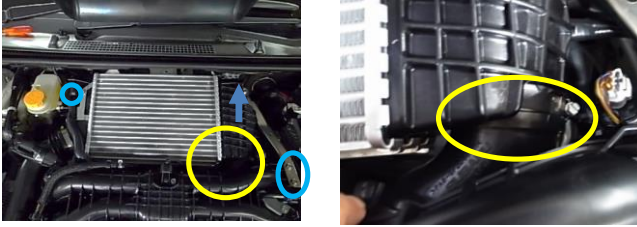
● エアクリナー側中間パイプの取り付け



- ① 右フロントタイヤをはずし、作業を出来る状態にして下さい。
 - ② 下記画像を参考にダクトを固定しているバンドを緩め、ダクトを浮かした状態にして下さい
 - ③ ダクト側ヘリングを確実に差し込んで下さい。
 - ④ 取り外した手順と逆の手順にてダクトを取り付け、フロントタイヤを装着して下さい。
- 注意！ 4型後期ディーゼル車はリングがやや緩めです。必ず付属のアルミテープにて固定して下さい。

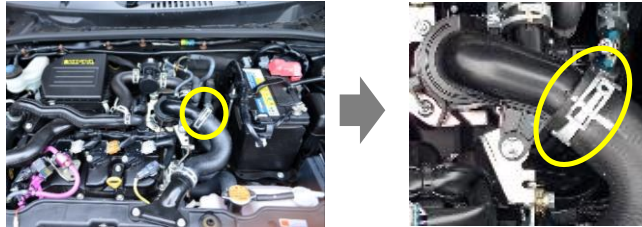
<レヴォーグ・S4車> ●インタークーラー出口パイプ部分に取り付け

- ①インタークーラーを固定しているネジ(運転席側1本、助手席側ステー2本)をはずし、パイプのバンドを緩め、インタークーラーを矢印方向にずらして下さい。
- ②インタークーラーの出口にリングを装着して下さい。



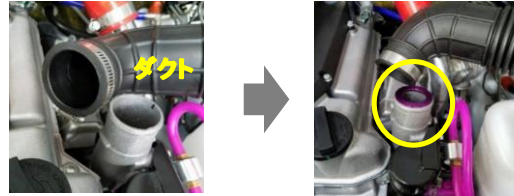
<LA400コペン> ●スロットル側の中間パイプへ装着

- ①インタークーラー出口側の中間パイプ部分へリングを装着して下さい。
* 金属パイプ側へリングの出っ張った部分を向け、装着して下さい。



<JB23ジムニー> ●エアクリナー側中間パイプの取り付け

- ①クリーナーに接続されているダクトを脱着して下さい。
- ②ダクトのタービン側へ標準リングを装着して下さい。
* アシストリングはスロットルボディー側へ装着して下さい。
- ③取り外したダクトを確実に装着して下さい。



【MINICON、MINICON PROの同時使用について】

- MINICON、MINICON PROとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します。

【使用上の注意点】



- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからリングを使用して下さい。

【トラブルチェック】

<リングの挿入ができない>

- インテークパイプ等を装着してバンドを締めすぎている場合、エアクリナー側ダクトがわずかに楕円形状に変形してしまいリングが装着出来ない場合があります。変形したダクトを修正してからリングを装着して下さい。
- 社外品のインテークキット、コアタイプエアクリナーが装着されている場合、リングのサイズが標準品とは異なる場合があります。

<リング装着による変化が感じられない>

- 車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。
- 数々のテストでは、アクセル開度約20~40%の一定走行時にノーマル状態より大きく効果が感じられるポイントがありました。走行しながら、変化の大きいポイントを確認してみてください。

<アイドリング不調><吹け上がらない>

- ダクトが確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

<高回転がノーマルより伸びない>

- 本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

<エンジンチェックが点灯した場合>

- エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。エアクリナー周りの清掃及びエアクリナーの新品交換をおこなって下さい。
- ノーマル状態にて、(走行-エンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

【類似品について】



- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。

【参考！ 社外品インテークキットとの組み合わせ】

- 社外品のインテークキットが装着されている場合、エアクリナーBOXが車両の純正品であればリングは装着可能です。
- 通常取り付けと同じ要領で、リングを取り付けて下さい。
- リングの固定が不安定な場合、インテークキットのゴムブーツの上から、タイラップバンド等を巻き付けて、リングの固定をおこなって下さい。